

2023年度版

**インパクト投資に関する
消費者意識調査（定性調査）**

2024年2月22日

一般財団法人 社会変革推進財団 (SIIF)

ごあいさつ	3
調査の趣旨と概要	4
インタビューフロー	5
フォーカスグループ参加者(16名)の属性	6
インタビュー回答内容	11
調査結果からの洞察、示唆	23

このたび社会変革推進財団（以下SIIF）では、2023年度の「インパクト投資に関する消費者調査」を実施し、その結果を発表いたしました。

過去4回の消費者調査では大規模サンプルを用いての定量調査を実施し、様々なクロス分析を行うことでインパクト投資に対する消費者の認知度や関心度について様々な知見を得ることができました。2023年は、定量調査に代わってフォーカスグループ（グループインタビュー）による定性調査を行い、インパクト投資に対する消費者の意識やその形成プロセスをより詳細に探ることに注力しました。

本調査の内容は、インパクト投資の普及推進に携わる諸機関や、将来インパクト投資商品を消費者に提供しようと考えている金融機関に有用であると考えております。

SIIFはGSG国内諮問委員会の事務局として、金融機関等を対象にした調査である「日本におけるインパクト投資の現状と課題」を2017年より実施し、レポートを公開しております^(注1)。今般発表した本「インパクト投資に関する消費者意識の定性調査」と併せてお目通しいただくことで、日本のインパクト投資の最新状況を複眼的にご理解いただけるものと存じます。

この消費者調査は、既述の「日本におけるインパクト投資の現状と課題」の調査にも携わった織田聡および佐々木喬史が実施しました。

本レポートをご一読いただき、忌憚なくご意見をお寄せいただければ幸いです。

一般財団法人 社会変革推進財団
代表理事 青柳 光昌

注1：「日本におけるインパクト投資の現状と課題 2022年度調査」 <http://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/gsg-2022.pdf>

- インパクト投資に対する消費者意識の現状把握と、今後のリテール市場開拓に有用な情報の分析を目的として定量調査を実施した。

- 調査目的：

インパクト投資に関して「①認知度促進」「②商品企画立案」のための示唆を得ることを目的に調査を実施する。具体的にはインパクト投資に関心のある層を呼集し、日ごろの情報収集経路及び当カテゴリーの肯定度合いや関心を持つ理由、ニーズの方向性などを聴取する。

- 調査手法：フォーカスグループ（いわゆるグループインタビュー。4セッション組成で各90分）

	男性	女性
20~30代	グループ1	グループ3
60代以上	グループ2	グループ4

- グループ設計と対象者条件：計4グループ（各4名）

- ＜フォーカスグループ参加者抽出条件＞

参加者を抽出するため、インターネットによるアンケート調査を実施。抽出条件は：

- ①20~30代及び60代以上男女、
- ②現在投資を行っている人
- ③インパクト投資に関心がある人（5段階でTOP2 1. 大に関心がある ~ 2. やや関心がある）

* 抽出アンケート上でインパクト投資の概要を説明後に関心度を確認した。

- 調査日程： 2023年9月23日（土）、9月24日（日）

- 調査委託先：株式会社マクロミル

- インパクト投資についての活発な議論を促すため、最初にフォーカスグループ参加者の投資経験から発言させるという流れの質問を配置した。
- 参加者の発言内容によって臨機応変の対応を行いながらも、4つのグループでこの流れでフォーカスグループインタビューを行った。

1. 投資に対する意識と、実際の投資行動

投資を開始したきっかけ、目的と時期

現在の投資ステータス、ポートフォリオ

投資に関する情報源

2. 社会課題に関する意識

どのような社会課題に関心を持っているか？

なぜその課題に関心を持つようになったのか？

3. インパクト投資の認知状況

いつ頃、どの媒体経路で知ったのか？

具体的に、インパクト投資について何をしているか？

他の一般的な投資と比べて、何が違うと思うか？

4. インパクト投資を行うことへの関心度

社会課題解決の手段として、インパクト投資を行うことに関心はあるか？

なぜインパクト投資を行うことに関心を持ったのか？

どれくらいのリターンを期待するか？

どの程度、資金をインパクト投資に振り向けてもよいか？

インパクト投資の対象分野として、どこに投資したいか？

5. インパクト投資を普及させるために、何が有効か？

どのような媒体を使えば、認知度が上がると思うか？

どのような投資商品であれば、投資してみたいと思うか？

どういう販売経路なら、インパクト投資商品の購入に関心を持つか？

フォーカスグループ参加者(16名)の属性

グループ1 20~30代男性


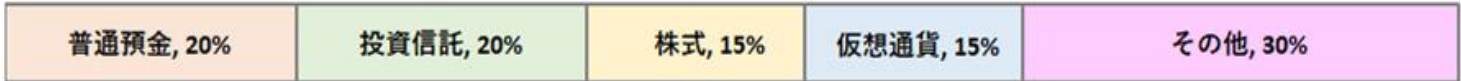

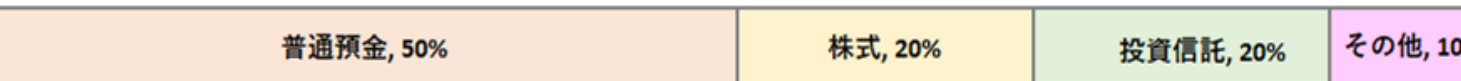
- 金融資産総額は90万円~4,000万円とばらついている。投資を開始したきっかけは「大学（経済系）の授業で興味を持った」、「就職と同時に」「マンション購入」など。
- 少しでも「資産を増やす」ことが目的。
- 給与や預金では資産が増えないため、株式や投資信託を購入している。インフレや円安の進行に備えている意識もあった。

<p>A 23才 会社員 未婚 実家 世帯年収 200~400万 個人年収 200万未満</p>	<p><金融資産総額90万円></p> <p>普通預金, 10% 株式, 60% 投資信託, 30%</p>
<p>B 31才 会社員 既婚 子なし 世帯年収 1000~1200万 個人年収 600~800万</p>	<p><同上 4,000万円></p> <p>普通預金, 30% 株式, 30% 投資信託, 30% その他, 10%</p>
<p>C 39才 会社員 未婚 単身 世帯年収 600~800万 個人年収 600~800万</p>	<p><同上 1,500万円></p> <p>普通預金, 40% 株式, 30% 投資信託, 30%</p>
<p>D 39才 会社員 婚約者と同居 世帯年収 不明 個人年収 400~600万</p>	<p><同上 800万円></p> <p>普通預金, 10% 投資信託, 10% 暗号通貨, 70% 外貨預金, 10%</p>

- 金融資産を見るとリタイア後の70代が余裕がある傾向である。総じて投資歴は長く(30年超)、「以前は様々な株に手を出しては失敗もしてきた」とのこと。
- 一部(C「老後資金を手堅く増やしたい」)を除くと、現在はリターンへの期待値は低い。
- このセグメントはおしなべて「元本割れしなければ良い。株式優待を目当てに好きな企業を応援している」という、緩いモードで投資をしている。

<p>A 73才 無職 既婚 子あり 世帯年収 400~600万 個人年収 400~600万</p>	<p><金融資産総額3,000万円></p> <table border="1"> <tr> <td>普通預金, 15%</td> <td>株式, 75%</td> <td>その他, 10%</td> </tr> </table>	普通預金, 15%	株式, 75%	その他, 10%
普通預金, 15%	株式, 75%	その他, 10%		
<p>B 70才 無職 既婚 子あり 世帯年収 200~400万 個人年収 200~400万</p>	<p><同上 2,500万円></p> <table border="1"> <tr> <td>普通預金, 60%</td> <td>株式, 20%</td> <td>投資信託, 20%</td> </tr> </table>	普通預金, 60%	株式, 20%	投資信託, 20%
普通預金, 60%	株式, 20%	投資信託, 20%		
<p>C 65才 会社員 離別 単身 世帯年収 400~600万 個人年収 400~600万</p>	<p><同上 1,300万円></p> <table border="1"> <tr> <td>普通預金, 10%</td> <td>小口不動産, 90%</td> </tr> </table>	普通預金, 10%	小口不動産, 90%	
普通預金, 10%	小口不動産, 90%			
<p>D 62才 経営者 既婚 子あり 世帯年収 800~1000万 個人年収 800~1000万</p>	<p><同上 500万円></p> <table border="1"> <tr> <td>普通預金, 65%</td> <td>株, 25%</td> <td>外貨, 10%</td> </tr> </table>	普通預金, 65%	株, 25%	外貨, 10%
普通預金, 65%	株, 25%	外貨, 10%		

- 金融資産額はまだ少ない傾向（特に20代）であり、投資リテラシーも低い。漠然と「将来（老後）の不安に備える」人もいれば、「目先のお小遣い（旅行、ファッションなど）の足しにしたい」という人もいた。
- このグループは同世代の男性に比べて普通預金の比率が高く、慎重な態度が特徴である。

<p>A 36才 自由業 未婚 単身 世帯年収 600～800万 個人年収 600～800万</p>	<p><金融資産総額1,000万円></p>  <p>普通預金, 70% 株式, 30%</p>
<p>B 27才 会社員 既婚 子なし 世帯年収 1000～1200万 個人年収 400～600万</p>	<p><同上 300万円></p>  <p>普通預金, 20% 投資信託, 20% 株式, 15% 仮想通貨, 15% その他, 30%</p>
<p>C 25才 会社員 未婚 単身 世帯年収 200～400万 個人年収 200～400万</p>	<p><同上 140万円></p>  <p>普通預金, 60% 投資信託, 35% 仮想通貨, 5%</p>
<p>D 23才 大学生 未婚 実家 世帯年収 不明 個人年収 不明</p>	<p><同上 100万円></p>  <p>普通預金, 50% 株式, 20% 投資信託, 20% その他, 10%</p>

グループ4 60代以上女性

- 他グループに比べて金融資産額が大きい。
- 職業はフリーランスやアルバイト、専業主婦など保障が少ないこともあって、「万一の時、あるいはリタイア後に備える」意識で投資をしている。

<p>A 60才 自由業 未婚 実家 世帯年収 400~600万 個人年収 200~400万</p>	<p><金融資産総額300万円></p> <p>普通預金, 20% 株式, 50% 投資信託, 25% 仮想通貨, 5%</p>
<p>B 63才 自営業 既婚 子あり</p> <p>世帯年収 600~800万 個人年収 200~400万</p>	<p><同上 8,000万円></p> <p>普通預金, 25% 投資信託, 50% 不動産, 25%</p>
<p>C 65才 専業主婦 既婚子あり</p> <p>世帯年収 600~800万 個人年収 200万未満</p>	<p><同上 4,000万円></p> <p>普通・定期預金, 30% 株式, 10% 投資信託, 60%</p>
<p>D 73才 アルバイト 未婚 単身</p> <p>世帯年収 200~400万 個人年収 200~400万</p>	<p><同上 1,900万円></p> <p>普通預金, 30% 株式, 45% 投資信託, 20% 金, 5%</p>

インタビュー回答内容

- 情報入手チャネルはグループで差が出ている。若年ではネットが中心であり、男性では主に「X」「証券会社のメルマガ」「デジタルマガジン、経済紙」をチェックする。
- 一方で女性では「YouTube動画」「X」を参照する人が目立っていた。
- 年長層もネットは見るがTVや紙媒体も併用しており、男性はTV等で知った情報をネットで深掘すること。
- 女性は接触する経路が多様で、積極的にアンテナを張っている様子が窺えた。

男性		女性	
グループ1 20~30代	グループ2 60代以上	グループ3 20~30代	グループ4 60代以上
<p>初期は雑誌や書籍で勉強した</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 初心者向け解説本 ✓ マネーSPA、ダイヤモンドZaiなどの投資雑誌 <p>ネット中心でTVはほぼ見ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ X (Twitter) で、インフルエンサー（池田勇人記者など）の投稿を見る ✓ 証券会社のメルマガ、コラム ✓ 時事問題はニュースアプリ <p>YouTubeは長いので見ない</p> <p><その他 1名></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ マクロな動向は経済誌（日経、ブルームバーグなど 	<p>大まかな動向はTVで知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ニュース番組をチェックする ✓ NHKは信頼しやすい ✓ ワイドショーも見る <p>TV→詳細はネットで深掘する</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ TVを見て、気になることは検索して詳細をチェック ✓ 検索後の記事を上から2~3個見る。1つを鵜呑みにしない <p>金融商品情報もネットが中心</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 証券会社のメルマガ、HP ✓ ウェブ動画やdマガジンの経済雑誌を見る 	<p>TVよりもニュースアプリを見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 朝の情報番組は流しているがさほど真剣に見ていない ✓ LINEニュースやYahoo! ニュースでチェックする <p>投資系はYouTubeとXが多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ YouTubeの両学長など、登録者数の多い人を参考にする ✓ Xで検索することもある <p>株価のチャートはアプリで見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 朝一や仕事の合間で1日1回 ◆ (1名) 四季報。就職活動で読む習慣が付いた 	<p>ニュースは新聞&アプリを併用</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 朝刊は一通りチェックする ✓ Yahoo! ニュースアプリを見る ✓ radikoでラジオを聞く <p>投資系の情報は多様で、人によってばらつき</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 証券会社のHP・社員 ◆ 投資雑誌（東洋経済等） ◆ Yahoo! ファイナンス ◆ 入門者向けの書籍 ◆ 投資関連のTV番組（テレ東、MX） ◆ インフルエンサー 森永卓郎、山崎元、荻原博子

- 男性は一般的に気候変動問題など地球規模的な社会課題に関心を持っている。
- 60代男性は年金問題、高齢者福祉を自分事として不安視している。
- 一方で女性は子どもの貧困など、「困っている人の顔が見える」ような身近な社会課題に共感し、社会貢献意識が刺激される様子が見られる。
- 女性は、「社会課題」「環境問題」と大上段（マクロ、グローバル）にアプローチされると、「難しい、分からない」と抵抗感が生じてしまう傾向がみられる。

男性		女性	
グループ1 20～30代	グループ2 60代以上	グループ3 20～30代	グループ4 60代以上
<p>温暖化や自然環境保護の問題が気になる。自分や子の将来の暮らしが不安。</p> <p>30～50年後の地球はどうなる？</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ とにかく今年の夏は酷暑だったし、災害も多いので他人事ではない。 ✓ 人間が森林伐採など破壊しすぎたのかなと思っている。 <p>少子高齢化、地域格差など、日本の将来は明るくなさそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方は成り立たなくなりそう。 ✓ 自分も将来子供を持つと思うが、日本は暮らしにくくなりそう。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ フードロスの問題がある。 ◆ 実は、より深刻に衣料ロスの問題がある。アフリカに衣料品を送っても、実際には着用されず、ゴミを増やしている。 	<p>10～20年後の老後の生活は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 温暖化が毎年進んでいるし、各地で災害が発生する。 ✓ 現在も過酷だし、10～20年後はさらに暮らしにくくなっていそう。 <p>(60代のみ) 高齢者福祉や年金問題。自分は享受できるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分たちは現役時代年金を払ってきたが、高齢者に回った時にサービスを受けられるのか？ <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ (70代) 女性活躍社会について。日本は多様化が進んでいないという問題がある。 	<p>(20代) 全体的に漠然としており自分ゴト化していない。</p> <p>アフリカの食料危機や貧困問題。YouTubeの動画で触発</p> <p>環境問題は切実そう。海外の山火事が印象に残る</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 飢餓のYouTube動画は印象的。 ✓ 日本も暑いのが海外の方が島が無くなったり切実だと思う。 <p>(漠然と) 年金や親の介護は？自分たちの老後は大変そう・・・</p> <p><30代1名のみ></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 富の再分配に興味。自分は単身なので人の役に立ちたい。ワールドフードプログラムや、国境なき医師団などに募金している。 	<p>国内の貧困問題。特に子供～若年の貧困は切実だと思う</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ シングルマザーの話はよくニュースで見る。子供食堂などを耳にすると、食べるのに困る人がいるのは切実だと思う。自分にも子供がいるので、気になる。 ✓ 最近の若い子は半数以上が奨学金を借りていると聞く。非正規雇用で賃金も安いので、借金が負担になるのではないかな？ ✓ 自分たちは年金をギリギリ貰えそう。若い子はもらえないのでは？ <p>「環境問題」と言われてもピンと来ない。自分に何ができるのか、不明</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 台風、ゲリラ豪雨は確かに増えているが、「環境」と言われるとよく分からない。自分たちの投資がどう生かされるのか？説明が必要。

- 各グループで半数程度、名称を認知している人がいるが、理解は曖昧な人が目立つ。
- 「名称と意味が繋がりにくい」、「普段自分が接するメディアには登場しない（違う世界の話）」とも指摘されている。

	男性		女性	
	グループ1 20~30代	グループ2 60代以上	グループ3 20~30代	グループ4 60代以上
名称認知者	<p>(2名) 名前を聞いたことはあって、意味も大体理解できている</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ (金融系) 仕事関係で聞いた。 ✓ ネット記事で見たと思う。 <p>社会的貢献は時流感あり。今後、伸びしろのある投資かなと興味あり</p>	<p>(2名) 名前は見たが、意味まではよく知らない。素通りした</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ネットの刊行物(株式ジャーナル)で見たが、意味までは覚えていない ✓ ネットサーフィンで見つけたが「ふーん」程度で終わった 	<p>(1名) 名前は知っているが、意味は不確か</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 就職活動中(金融業界のセミナーまたはインターン)に知ったと思う ✓ 何かにインパクトを与える? 意味は詳しく知らない 	<p>(2名) 名前を聞いたことがある。意味まではよく分からない</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ TV番組で流れてきた? どこかで聞いた記憶はある ✓ 投資系の雑誌でちらっと見たような気がする
非認知者	<p>(各グループ2~3名) この言葉は初めて聞いた。日々多数のメディアには接しているが、自分の目には留まらなかった</p> <p>↓</p>			
	<p>大学の講義でESG投資は知っていたがインパクト投資は出てこなかった。</p> <p>そこそこネットでは情報を集めているつもりだが、Xやテレグラムでは出てこなかった。</p>	<p>個人的にはスタートアップ企業に投資している。それに近い?</p>	<p>ESG投資は知っていたが、新しいものなのか?</p> <p>〇〇投資と多数の用語があるので覚えにくい。</p>	<p>「なんとか投資」と言われても「ふ〜ん」という感じになると思う。</p> <p>カタカナとかアルファベットを使っているとピンと来ない。</p>
	<p>名称と意味が繋がりにくいので、目に入っても記憶に残らないのだと思う。インパクトは衝撃との直訳で、「社会課題解決」の要素が連想できない</p>			

「インパクト投資」という呼称へのパーセプション

- ・フォーカスグループ参加者からは、「インパクト投資」という語句に対する違和感が多く指摘された。
- ・日本の言語環境では「インパクト＝衝撃」などと想起されてしまい、「社会課題解決」と結びつかない点に、認知度向上や関心度向上へのバリアーがあるように考えられる。

	男性		女性	
	グループ1 20～30代	グループ2 60代以上	グループ3 20～30代	グループ4 60代以上
名称認知者	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インパクトという語感から感じるものと意味が違う。何も知らない、「すごく値上がりしそうな、インパクトある銘柄」という印象を受ける。 ✓ 確かにそれをインパクト投資と名付けるんだ、と意外に感じた。昔、AppleがiPhoneを発売した時のような、社会的影響が大きい企業に投資するイメージだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インパクトって聞くと、頭の中にはまず良いイメージは湧かない。衝撃って。 ✓ (社会課題に対するインパクトという意味が分かりにくいのか？との問いに対し) 分からないよね。まず言葉がまずいよね。 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日本語に置き換えられるなら置き換えた方がいい。 ✓ あるいは「インパクト投資」と日本語をセットでしばらく見せるとか。 ✓ 若い人はカタカナ語を知っているつもりでも、(中身を)知らないことが多い。
非認知者	<ul style="list-style-type: none"> ✓ もうちょっといい言葉なかったのかな。インパクト投資という言葉と、その意味が直結しないと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「インパクト」って、通常のインパクトと同じ意味なんですか？ 普通、衝撃みたいなイメージだけど、それ以外の社会的なリターンということが言葉からは全く想像がつかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インパクトと言う横文字が、あまりスッと入って来ないので、証券会社でもインフルエンサーでも、図解して詳しく説明してくれればもっと興味を持つのかなと思う。 ✓ インパクトとは何？となる。何にインパクトを与えるの？となる。 	

インパクト投資の関心度合いとその理由

- 総じて自分と社会の両方に利益が出ると「一石二鳥」と考えられる。
- 但し「利益が出なそう」「社会貢献できる企業か疑わしい(=チェックしたい)」との懸念がある。
- 投資額の少ない20代は「今の自分にはまだ早い」との認識。

	男性		女性	
	グループ1 20~30代	グループ2 60代以上	グループ3 20~30代	グループ4 60代以上
Positive	<p>自分の投資したお金が有効活用されるなら良いと思う。「社会貢献した」という実感があれば、嬉しい</p> <p>✓ 普通に投資してリターン的大小よりも、社会的意義があるならちょっと嬉しい/人として生きる以上正義感はある。自分の投資が生きるなら満足する。</p>			
	<p>トレンド感がある。先取りで参加できると満足する</p> <p>(1名) 共感する企業に出資したい。投資とは本来そういう物だと思ふ</p>	<p>(70代) リターンは度外視で寄付に近い。若い人に託す感覚</p> <p>✓ 長年株をやっているが、利益を出すのは難しい。賛同した会社が成長すれば満足できる。</p>	<p>投資した会社が成長して、社会問題が解決されるとWin-Winになる</p> <p>✓ 社会問題が解決されれば、結果自分の老後不安も解消されそう。</p> <p>寄付よりも胡散臭くない。一定のリターンも出ることを期待している</p> <p>✓ 寄付は用途が不透明で限界がありそう。投資の方が信用できる。</p>	
Negative	<p>リターンは出るのか？社会貢献を目指すあまり、潰れてしまっても困る/ 利益が出ないなら、政治や寄付で解決すべき</p> <p>✓ やはりリターンが少なくなるのか？自分の利益が無くなったり元本割れするなら厳しいと思う/寄付のようになるならお金持ち向けというイメージ。</p> <p>✓ 利益度外視で実施するなら寄付や政治の仕事では？投資という以上はリターンが出るのが順当だと思う。</p>			
	<p>(20代) 自分にはまだ早そう。余裕のあるお金持ち向け</p> <p>✓ 資産5,000万円で、FIREができたなら考える。</p>	<p>(60代) 本当に社会貢献になって自分にもメリットがあるか？成果をチェックしたい</p> <p>✓ 自分の生活が快適になっているという実感がないと厳しい。</p>	<p>(20代) 自分にはまだ早そう。将来余裕が出たら検討したい</p> <p>✓ 50~60代のお金持ち向け。</p> <p>✓ 資産2,000万円を超えてから。</p>	<p>本当に社会貢献になって弱者を救えるのか？ビジョンをチェックしたい</p> <p>✓ 社会問題にどんな風に取り組むのか？方針を示して欲しい。</p>

- 男性は「投資である以上、事業として成立するか」という合理的な視点でジャッジする傾向が強い。
- 特に年配層は「目に見える成果をチェックしたい」という意向が強く、60代は短期で自分への恩恵も求める傾向。

男性	
グループ1 20～30代	グループ2 60代以上
<p>一步引いた視点で「経済が上手く循環し広く課題が解決するか」「リターンも出そうか」との合理性を重視する。</p> <p>【11；中小企業支援】 ✓ 自分も中小企業勤務なので、資金調達のシビアさが実感できる。力のある企業も多いので、埋もれさせるのは勿体ない。</p> <p>【12；質の高い住宅を安価に提供】 ✓ 空き家の流動性を高めると、地域格差の解消にも繋がりそう。ビジネスとして成立して利潤も出そう。</p> <p>【9；IT、先端技術応用で社会課題解決に貢献】 ✓ 環境、福祉など公共性の強いジャンルよりも利潤が出そう。</p> <p>【2；環境保全に役立つ製品】 【4；再生可能エネルギー】 ✓ 30年後の地球温暖化などが不安なので、投資したい。 ✓ 但し政治の仕事？という気もして、利潤が出ないのではないかと。</p> <p>【16；介護休暇～職場環境を整えている】 【18；育児休暇～】 ✓ 親が祖父母の介護をしている様子を目の当たりにして大変さがよく分かる。自分の職場にも子育てママがいるが苦勞していそう。 身近な課題を解決すると、社会全体も良くなりそうと思った。 ※自分が投資した企業が成長し報道されたら貢献の実感が得られる。</p>	<p>投資の成果を極力短期でチェックできるか？という視点で選好する。特に60代は自分の利益に繋がることを重視する。</p> <p>【4；再生可能エネルギー】 【14；気候変動】 ✓ 気候変動は世界的に切実な問題。投資することによって対応するサービスが拡充し、自分の暮らしも守られればWin-Winだと思う。</p> <p>【(60代) 8；質の高い医療・介護サービス】 ✓ 高齢化社会の課題を解決しつつ、自分の老後も安泰になると良い。</p> <p>【(60代)10；インフラ整備や都市開発】 ✓ 環境保全や気候変動は切実な問題だが、改善の状況を短期に見ることは難しそう。インフラ整備系なら短期で目に見える成果（道路ができるなど）がチェックできそう。自分も恩恵が受けられそうだと思う。</p> <p>【(70代) 12；質の高い住宅を安価に提供】 ✓ 65歳以上で所得が低い人が住宅に困っていると聞く。1人でできることは限られているが、有志が集まると問題を解決できそう。</p> <p>※（60代）自分がメリットを享受できないと、興味は薄れる。</p>
<p>✓ 項目的にはどれも賛成だが、具体の事業プランとして何をやるか？真に社会貢献に結び付くか？が重要だと思う。</p> <p>✓ 投資である以上、ビジネスとして成り立ってリターンが出そうかどうかが大事。利益が出ないなら寄付（＝偽善的、金持ちが行う物）になってしまう。</p>	

- 女性は社会課題に対して、地球規模的視点よりも寧ろ「身近に感じられるか」「共感できるか」との視点でジャッジする傾向がみられる。
- ビジョン重視で、成果についてはさほどシビアに考えていない。
- また年長層に比べて若年は、社会課題そのものの知見が薄く、他人事になりがちである。

女性	
グループ3 20~30代	グループ4 60代以上
<p>総じて示された文字情報では想像がつかず、「選ぶことが難しい」「自分ゴト化し難い」とのこと。映像等で困っている人（動物）の顔が見えると心が動く傾向。</p> <p>【成果の期待スパン】 ✓ 早いに越したことはないが、30年くらいかかるのではないかな？ ✓ 自分の老後が安泰になると嬉しい。</p> <p>【13：安全な水資源】 【14：気候変動】 ✓ 地球規模の問題なので分かり難いが重要だとは思ふ。 ✓ 森林火災でコアラが危機に瀕する映像を見ると切実度が増す。</p> <p>【3：質の高い教育・子育て】 ✓ 自分も豊かではない家庭に育ったので、貧しい子を支援したい。</p> <p>【2：環境保全に役立つ製品】 【4：再生可能エネルギー】 ✓ 30年後の地球温暖化などが不安なので、投資したい。 ✓ 但し政治の仕事？という気もして、利潤が出ないのではないかな？</p> <p>【8：質の高い介護・医療サービス】 ✓ 自分もいずれ高齢者になるので、自分にも恩恵があるのでは？</p> <p>【7：食料の安定確保】 ✓ 日本の食料自給率が低いのは気になる。農学部だったので。</p> <p>※ ペット問題（殺処分0など）も組み込んで欲しい。</p>	<p>自分の身近で見聞きした情報や困っている人の顔が見えるテーマに興味を示す。企業のビジョンに共感できるかどうか？が選択の基準になる。</p> <p>【1：文化芸術の振興】 ✓ 自分が芸術に興味がある（音大出身・美術館巡りが趣味）ので、国が芸術にお金を出さないために苦労している様子を見聞きする。 ✓ 「芸術家の生活を支える」など力になれるなら投資したい。</p> <p>【5：マイクロファイナンス機関】 【11：中小企業支援】 ✓ 自分もフリーランスで働いているので、中小企業を支えることは大事。コロナ禍でも大企業優先で、倒産に追い込まれている。</p> <p>【15：女性、外国人、障がい者、高齢者の活躍を推進】 ✓ 人出不足とも聞くので、女性や障がい者等を活用した方が良い。</p> <p>×【2：環境保全】 【4：再生可能エネルギー】 ✓ 環境問題は切実だと思うが、どんな企業が何に取り組めば改善されるのか？自分に何ができるのか？よく分からない。 ✓ イメージが付かないので、投資したいと思えない。</p> <p>※長期的視点だと分かり難い。3~5年目途に方針を示して欲しい。 ※投資で集まったお金は適正に使い、成果は報告してほしい。</p>

2022年 定量調査からの示唆： 性別・世代別の関心領域

- グループインタビューでの性別の傾向は、定量調査でも裏付けられる。
- 男性が上位に押す「再生可能エネルギー」は、女性の関心は高くない。
- 20代男性、20代女性、30代女性は、身近な問題である子育て関連の2つの領域に対して関心が高い。

「大に関心ある」と「やや関心がある」の合計%の順位(上位3位を色でマーク)

	全体 順位	男性					女性					
		20代	30代	40代	50代	60~	20代	30代	40代	50代	60~	
再生可能エネルギーを開発、提供している企業	1	2	1	1	1	1	6	3	3	4	1	
環境保全に役立つ製品、サービスを提供している企業	2	9	8	5	8	3	3	1	4	2	2	
質の高い医療・介護サービス提供や医療・介護費の削減に取り組む企業	3	8	4	4	5	5	2	4	2	3	5	
持続可能な農業のための製品、サービスを提供している企業	4	13	7	7	2	4	13	9	1	5	3	
IT、先端技術を応用して社会課題解決に貢献する製品、サービスを提供している企業	5	5	6	2	3	2	4	11	12	8	7	
安全な水資源確保や公衆衛生のための製品、サービスを提供している企業	6	10	3	6	13	6	12	5	8	6	4	
気候変動への適応と緩和のための製品、サービスを提供する企業	7	12	5	10	12	7	15	7	11	1	6	
インフラ整備や都市開発向けの製品、サービスを提供している企業	8	1	2	9	10	8	11	13	13	11	9	
企業活動の過程において環境負荷を軽減する努力をしている企業	9	7	12	8	4	9	9	12	5	7	8	
女性、外国人、障がい者、高齢者など多様な社員の活躍を推進する企業	10	6	9	17	9	13	8	8	6	10	11	
仕事を続けながら子どもを育てやすい職場環境を整えている企業	11	4	13	14	11	17	1	2	7	15	12	
質の高い教育・子育てのための製品、サービスを提供している企業	12	3	11	13	14	11	5	6	15	12	14	
仕事を続けながら介護を行いやすい職場環境を整えている企業	13	15	14	11	15	12	7	10	10	9	13	
文化芸術の振興に寄与する製品、サービスを提供している企業	14	18	17	16	16	10	10	15	9	13	10	
貧困層に小口の融資などの金融サービスを提供する、マイクロファイナンス機関	15	17	16	3	6	15	14	16	18	16	15	
質の高い住宅を安価に提供している企業	16	16	10	15	7	14	16	14	14	14	16	
フィンテックなどを活用した、革新的な金融サービスを提供している企業	17	11	15	12	17	16	18	18	17	17	18	
中小企業を支援する製品、サービスを提供している企業	18	14	18	18	18	18	17	17	16	18	17	
	n=	783	94	98	94	62	126	57	57	61	49	85

資料：SIIF、2022年度版インパクト投資に関する消費者意識調査

投資額やリターンに関する意向

- ・インパクト投資という概念もまだ浸透しておらず、投資対象企業のイメージもない状態なため、具体的な投資額などは想像しづらい様子。投資金額全体の概ね1割が、インパクト投資への配分額となる。
- ・リターンは通常より1~2%低くても許容可能とのこと。
- ・特に女性はインパクト投資に対して寄付的な性格を位置付ける傾向があり、リターンに対しては男性よりも鷹揚である。

	男性		女性	
	グループ1 20~30代	グループ2 60代以上	グループ3 20~30代	グループ4 60代以上
投資意向	<p><30代> 投資額全体を10とした時、1割程度から始めたい</p> <p><20代> 自分にはまだ早い。金融資産5,000万円になってから。</p>	<p>投資額全体を10とした時、1割程度が上限となる</p> <p><70代1名> どうせ儲からないので、投資額の5割程度スライドしても良い。</p>	<p>投資額全体を10とした時、2割程度が上限になりそう</p> <p>投資信託なら潰れて0になることがないので投資しやすい。</p>	<p>投資額全体を10とした時、0.1~1割程度からスタートしそう</p> <p>✓ 慎重に様子見で少額に。手数料が高いと嫌なので、それもチェックしたい。</p>
最低購入金額	<p><30代> 1万円くらいから始められれば良いのでは？</p> <p><20~30代> 数百円など、少ない額であるほど投資しやすい</p>	<p>まだ言葉自体も浸透していないので、額は答えにくい</p> <p>✓ 国のバックアップがあれば安全かなと思う。市場の成熟度合いをみたい。</p>	<p>10万円くらいからなら始めやすいと思う</p> <p>✓ 少額からスタートして成果が出ていくなら、投資額を増やしていきたい。</p>	<p>毎月3千円~1万円ずつなど積み立てだと出しやすい</p> <p>✓ 少額ずつ積み立てしたい。成果に応じて額を増やしても良い。</p>
期待リターン	<p>通常の投資よりは少なくともOK。年利2~5%くらいではないか？</p> <p>株主優待などの見返りは不要。その分、成果を出して欲しい。</p> <p>先行投資になるので、10~20年で化ければ良い。気長に投資しよう。</p>	<p>リターンは期待し難いのでは？元本割れを避けられればOK</p> <p>通常の投資よりは少なくともOK。年利2~5%程度。</p> <p>(使える物という前提で) 株主優待のように現物支給でも面白い。</p>	<p>具体的な年利はあまりよく分からない。2~3%あれば十分？</p> <p>元本割れせずに、少しでも増えれば嬉しい。</p> <p>投資というからには、現状の株式(4%)と同程度が良い。</p>	<p>年利は今行っている投資より「-1%」程度なら、許容可能</p> <p>(日用品など使える物であれば) 株主優待のように現物でリターンが来ても良い。企業との繋がりも実感できて嬉しい。</p>

- 意味もセットで理解できる呼称（ニックネーム、サブタイトルなど）を求める声が目立つ。
- 経路としては「ネット証券会社（メルマガ、トップページ、ランキングなど）」「ネット広告」「X」等が想起される。

投資リテラシーが低い若年女性では普段触れる媒体はネットである割には、「信頼するためにはテレビが良い」と感じている。

男性		女性	
グループ1 20～30代	グループ2 60代以上	グループ3 20～30代	グループ4 60代以上
<p>【前提として】 名称があまり良くない。意味もセットで直観的に理解できる呼称を検討した方が良いと思う</p>			
<p>有効な経路は：</p>			
<p>Xのタイムライン</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 日常的によく見るアプリなので。 <p>ネット証券会社のメルマガやHP</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 公式サイトの目立つ場所であればクリックすると思う。 <p>「大口投資家が出資した」との報道</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 影響力のある投資家が動く、トレンドなのかな？伸びるのかな？と期待できる。 	<p>経路の問題というよりも、そもそも理解・共感が難しい</p> <p>なぜなら・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ リターンを出すために投資をしているので、社会課題解決は相容れない（儲からなそう）。 ✓ 寄付行為と何が違うのか？志のない人は振り向かなそう。 ✓ ふるさと納税のように、win-winの関係があれば興味がわく。 	<p>ネット証券会社で大々的に売り出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ サイトで目立っていれば注目すると思う。 <p>ネット広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ バナー広告やYouTube広告に出てくれば自然と目に触れそう。 <p>信頼に値するのはTV（特にNHK）</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ネットのインフルエンサーはPR料が発生して怪しい。 ✓ よく分からない世界なので、結局TVに安心感がある。 	<p>テレビCM</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ メルマガで来れば見ると思う。 ✓ ランキング上位になると注目する。 <p>テレビCM</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 意味もセットで、テレビCMをやれば広く浸透しそう。 ✓ 投資に興味のない人の中にも「寄付」のマインドがある人が多くいるのではないかな？

- ・日常的に寄付をする人はごく一部に留まっている。
- ・詐欺や不正に近い行為など、負のイメージが強く倦厭する。
- ・クラウドファンディングについては言葉ではよく聞くが馴染みがない様子。「玉石混交」という印象も持たれている。

男性		女性	
グループ1 20～30代	グループ2 60代以上	グループ3 20～30代	グループ4 60代以上
寄付にもあまり馴染みがない。少し胡散臭い感じがするし、お金持ちがする行為というイメージもある			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 昔寄付した団体が詐欺だった。自分のお金がちゃんと届くのか？ ✓ 世の中には悪い人もいるので、結局困っている人には行き届かないのではないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 寄付はお金持ちがするものというイメージ。生活に余裕がある人がやればよいのでは？ ✓ 少し偽善的なイメージもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ たまに気が向くと少額を募金することもある。但しごく少額なのでインパクト投資とは全く別物だと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ユニセフ等は協会の運営や販促物にお金がかかっているようで少し疑問。 ✓ 街の募金は結局困っている当時にいかないと聞いたことがある。
クラウドファンディングは玉石混交。言葉はよく聞くが、正直見極め方もよく分からない			
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 個人的な夢を実現というテーマが目につき、公共性が低そう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(1名) 正義感から、環境保全団体などに所属している</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分は一市民で微力だが、正義感は強い方。環境保全団体に所属したり、大麻も正しいと思っているので合法化の運動に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 名前はよく聞くがよく分からない。 ✓ インパクト投資も結局、クラウドファンディングと何が違うのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どんなテーマがあるのか？正直調べたこともないのでよく知らない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(2名) 人の役に立ちたい・応援したいという気持ちで参加経験あり</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 国境なき医師団の活動やユニセフ募金などしたことがある。仕事も軌道にのって余裕ができたので。 ✓ 明治村存続のクラファンに参加した。明治時代が好きなので。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 興味はあるが、知り合いでもない限り参加するのは難しい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(1名) ユニセフに寄付したり、ボランティアに参加する習慣はある</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 根本解決にならないとは思いますが、医師系に少額を投じている。自分は裕福ではないが、バブルを知っている年代なので困っている人を少額でもサポートしたい。

①有望な商品属性

- ✓ インパクト投資の社会貢献特性を訴求することが、幅広い世代向けに有効である。
- ✓ 男性は女性に比べ、インパクト投資を（寄付でなく）投資と位置付ける傾向が強いため、男性をターゲットにする投資商品では、リターンと社会貢献性の双方を持たせる必要がある。
- ✓ 男性と女性で、選好する投資対象領域に大きな違いがあるため、気候動や再生可能エネルギーのようなマクロ的なインパクト投資商品と、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）のような身近な社会課題へのインパクト投資商品を分けて準備する必要がある。

②有望な顧客セグメント

- ✓ 若年層でもシニア層でも、男性でも女性でも、「社会課題解決＝利益は追求し難い＝リターンは低そう」とのイメージが強くある。
- ✓ 上記から、先行的なターゲットとしては、**金融資産額が高く、目先のリターンだけでなく社会貢献を志向するセグメント**が有望と考えられる。
- ✓ 属性でいうと、**60代以上の男女でポテンシャルが高い**。
- ✓ なお**30代男女でも、所得や金融資産額の高めなセグメント**では、**社会貢献の実感を得ようとする人**が見受けられたので、そのセグメントも重視すべき。

③認知度および関心度の向上のために必要なプロモーション

- ✓ 消費者心理の中で、「インパクト」という語句が「社会課題解決」と結びつかない点が、認知度と関心度への障壁となっている。
- ✓ そこで、「インパクト投資」に、**適切な日本語を添える**ことで、認知度と関心度の向上が期待できる。
- ✓ インパクト投資に関心を持つセグメントでは、**ネットとの親和性が高い様子**が窺える。
- ✓ そこで、媒体経路として、**ネット証券会社（メルマガ、インフルエンサーのコラム）、ニュースアプリ等**が有効と考えられる。
- ✓ 若年層では**X（男女）や「YouTube（女）」**も影響力があることが確認された。

2023年度 インパクト投資に関する消費者意識調査（定性調査）

**2024年2月22日発行
一般財団法人 社会変革推進財団**

**東京都港区赤坂1-11-28
03-6229-2622
info@siif.or.jp**